

松戸市シルバー人材センター はつらつ松戸

「自主・自立、共働・共助」 第49号

会員数

男性 1,608人

女性 451人

2,059人

平成27年 3 月末現在

編集・発行

公益社団法人
松戸市シルバー人材センター
〒271-0043
松戸市旭町1-174
TEL 047(330)5005
FAX 047(330)5008

松戸市シルバー人材センター
ホームページ
www.matsudoshi-silver.or.jp
E-mail matsudo1@sjc.ne.jp

発行 平成27年 5 月 1 日



【安蒜家長屋門】
(松戸市有形文化財)

「長屋門は大名屋敷などに見られる部屋付きの門で、農村部でも特定の農民にのみ建築が許された。〔千駄堀〕

文化財を訪ねて



【東漸寺・シダレザクラ】
(松戸市天然記念物)

樹齢推定300年以上。古来から樹種（エドヒガンザクラ）としては希少な突生苗（種から発芽して育った苗）と考えられ、関東地方ではいち早く開花する。（小金359番地）



みなさんの努力で！

理事長
高橋 邦雄

平成27年度がスタートし、早1ヶ月が経ちます。

今号では、松戸市シルバー人材センターのほんの少し我慢できるお話を。

今、全国レベルでシルバー人材センターを悩ませているのが会員の減少です。超が尽く程の高齢化社会を迎えているのになぜかと思いでしよう。原因は会社などの就業期間の拡大など様々な要因が推測されますが、それが、当センターでは増加傾向にあります。これはすごいなと思いますが、残念なのは増えているのは僅か、これからも特に女性会員の増加を意識し、更なる会員の拡大に努めてまいります。

次に、他のセンターとの情報交換の中で思ったのは当センターでは地域活動が活発なこと。他のセンターでは地域班がないというところもありますが、当センターでは勉強会、親睦交流会などが活発に行われており、しかも参加されている会員さんも皆、楽しそうです。

また、多くのセンターの悩みのひとつが、就業中の事故です。これも当センターでは22年度から減少傾向にあり、現場での研修が功を奏している部分があるかもしれません。が、いずれにしても、会員の皆様の日頃のご努力により成し得た成果にほかなりません。自慢したいことはまだまだありません。自慢したいところですが反面、就業の多様性や拡大、質の向上など、他のセンターを参考に勉強しなければならぬところも沢山あります。

今後も、シルバー人材センターの更なる躍進に向け、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

あつという間に、また夏がやってまいります。熱中症対策にご留意され、元気に過ごされますことを切に願っております。

「私の抱負」
生涯現役を目指して常務理事兼
事務局長
古宮 清三

シルバー人材センターにお世話になり、3年が過ぎまし

た。定年後の再就職というところで、お世話になりましたがこの時の喜びを今でも忘れることができません。

働けることの喜び、声をかけていただいたことの喜びを強く感じたものでした。定年を間近に控え、様々な不安はもちろん、一抹の寂しさを感じていたところ、思わぬお声をかけていただきました。あてにされる、あてにされたとの思いは、私にとって本当に大きな喜びでした。

そして、シルバー人材センターがこの時の思いを共感できるものであったこともラッキーでした。

シルバー世代にとつていつまでも「あてにされる」、「働ける」ということは大きな喜びだと思えます。年齢を重ねれば重なるほど、この二つのことと縁遠くなりがちなのも事実だと思えます。

しかし、シルバー人材センターは、違います。生涯現役です。お世話になった時の気持ち忘れず、皆さんが生涯現役でいられるように頑張ります。私も皆さんとともに生涯現役を目指します。これが私の抱負です。皆さん、これからもよろしく願います。

【定時総会開催のお知らせ】

●平成27年度定時総会
・日時 平成27年5月28日(木)
・場所 松戸市民会館

理事会報告

◆第9回 平成27年1月28日

【承認事項】

1、入会者の承認について

【報告事項】

1、事業実施状況報告について

2、未収金について

3、予算執行状況について

4、専門部会関係 専門部会等の活動状況報告

◆第10回 同年2月25日

【承認事項】

1、入会者の承認について

【報告事項】

1、事業実施状況報告について

2、平成27年度事業計画(案)について

3、専門部会関係 専門部会等の活動状況報告

◆第11回 同年3月19日

【議案事項】

1、公益社団法人松戸市シルバー人材センター平成26年度第1回収支補正予算について

いて

2、公益社団法人松戸市シルバー人材センター平成27年度事業計画について

3、公益社団法人松戸市シルバー人材センター平成27年度収支予算について

4、公益社団法人松戸市シルバー人材センター役員報酬等の支給額を定める内規及び公益社団法人松戸市シルバー人材センター諸謝金等の支給に関する規程の一部を改定する規程の制定について

5、公益社団法人松戸市シルバー人材センター職員給与規程等の一部を改正する規程の制定について

6、公益社団法人松戸市シルバー人材センター臨時職員就業規程の一部を改正する規程の制定について

【報告事項】

1、事業実施状況報告について

2、役員賠償責任保険の加入について

3、専門部会関係 専門部会等の活動状況報告

27年度の行事予定

・5月 定時総会(28日)

クリーンデー参加(31日)

事務局からのお知らせ

事務局からのお知らせ

事務局からのお知らせ

事務局からのお知らせ

事務局からのお知らせ

事務局からのお知らせ

★安全標語★

公益社団法人松戸市シルバー人材センター
 気がつかぬ 体の衰え 怪我のもと
 公益社団法人千葉県シルバー人材センター連合会
 気のゆるみ 急ぐところが 事故のもと
 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
 見逃すな ヒヤリで済んだ あの経験

・6月 センター普及啓発活動
 ・7月 安全・適正就業強化月間
 ・10月 松戸まつり、クリーンデー、ご長寿ハッピーコンテストに参加
 ・11月 シニア交流センターまつり

配分金支払日

(H27年)
 5月22日(金)
 6月15日(月)
 7月15日(水)
 8月14日(金)
 9月15日(火)
 10月15日(木)
 11月13日(金)
 12月15日(火)

また就業情報は、センター事務所の掲示板やセンターのホームページでもお知らせしています。

▼就業相談日

就業相談は毎月第3木曜日の午前中にセンター事務所で行っております。お気軽にご相談ください。

翌月3日を過ぎると翌々月の配分金扱いとなりますのでご注意ください。

▼就業報告書の提出期限は翌月3日までです

普通口座 3029246
 公益社団法人松戸市シルバー人材センター理事長
 高橋邦雄
 小金原支店

▼平成27年度正会員・賛助会員会費の納入について
 会費未納の方は、早急に納入をお願い致します。
 コンビニエンスストアでお支払いができるよう圧着ハガキをお送りしていますが、金融機関よりお振込される場合は左記口座へお願い致します。
 振込先 千葉銀行

特集

私のふるさと



2

あそこが君の、あなたの故郷!! 前号「私のふるさと」は予想外の好評を博しました。更に再度の募集にも多くの投稿を頂きました。誰にとってもふる里がいかに懐かしく有り難いかの証しでしょう。さあ第2弾です。(順不同)

10班 大塚 正

私の故郷は富士市(静岡)です。富士山を背に、風薫るこの時期・四月になると、駿河湾で捕れるサクラエビが、海岸一面、あたかも赤いジュウタンを広げたような景観を呈し、それはそれは実に美しく、春を告げる見応えある風景に、思わず心が躍ります。

4班 入山 敏夫

ふる里は富岡市(群馬)。子どもの頃手伝った養蚕が思い出です。ごま粒のような黒い虫が桑の葉を食べて白く大きくなります。桑の葉を食べ

るとき、雨が降るような音をさせます。35日前後でマユを作り、それから1週間くらい乾燥させて出荷です。その光景が今も浮かんできます。

2班 相澤 康夫

大阪は南河内が故郷です。鬼追いし...の歌詞とはまったく違い、騒がしい長屋の集落では、戦後のベビーブームで近所には同年代のガキがいっぱいで、何をするにもメンツがそろい、遊び盛りの子どもにとっては最高の環境でした。私にとつての故郷は景観よりも、友だちと遊び回った楽しい思い出です。その点今の子は気の毒だ。スマートフォンなんかすぐに使いこなせるのは羨ましいが。

4班 河野 達也

ふるさは本州最西端の下関(山口)です。故郷を離れて五十余年になりますが、昔は名産のふぐ(地元ではふく「福」という)をよく食べていました。最近ほとんど口にしていません。時間があれば郷里へ帰ってたらふく食べたいと願っています。

2班 酒井 鈴子

長岡市(新潟)の信濃川と山々に囲まれた小さな村でし

た。十月末から三月まで雪深く、二階が玄関となり、スキー通学でした。名物は日本一の花火、魚沼産の米、笹だんご、柿の種。有名人は山本五十六、田中角栄、三波春夫、ジャイアント馬場。上京して5年ですが、ふるさとのお話が大好きです。

7班 高田 すみ江

私のふる里、かすみがうら市(茨城)です。当時の霞ヶ浦は水も澄み魚も豊富で、漁に出る舟のトントントントンの音が心地よく、沖で帆を張り、風をはらんだ帆船はとっても雄大でした。学校が終ると友と誘い合い、泳いだり(私はもっぱら水遊び)、それから少し成長してボートに乗ったり、それなりに楽しく過ごしたあの一時がなつかしい思い出です。

2班 鈴木 啓吾

県最南端、福島県矢祭町の農家に生まれ育ちました。東に阿武隈山脈、西には一山越えて袋田温泉、北には矢祭山があり、奥久慈自然公園として春には花見、秋には紅葉で賑わいます。滝川溪谷遊歩道があり、48から成る滝また滝が出迎えてくれる風光明媚なところでした。

10班 宮田 昌平

都をば霞とともに立ちしかど秋風ぞ吹く白河の関（能因法師）：奥州三古関の一つに数えられる白河市（福島）が私の故郷である。老中首座を務め寛政の改革を行った松平定信公（八代吉宗の孫）が城主で善政を施し、東北地方を襲った天明の大飢饉の時も白河藩では一人も餓死者を出さなかったことで有名である。公が築造した人造湖の南湖公園の春は松の緑と何百本の桜・つつじで壮観そのもの。昔からみちのくの玄関口として栄えたわが城下町も原発事故の風評被害で今は観光客激減で寂しいかぎり。一日も早い復興で昔の元氣を取り戻してほしいと祈るばかりです。

5班 川上 伝

青春時代に、伊藤左千夫の不朽の名作『野菊の墓』を読まれ、涙ぐんだ方も多いだろう。その物語の舞台が松戸の矢切地区となると、一層の親しみを感じる。松戸生まれで松戸育ちの私は、この小説を思い浮かべるとき、松戸が自分のふるさとでよかったのかも知れないと思ったりする。

7班 盛 英雄

北海道の太平洋に突出したエリモ岬（えりも町）の隣町が、わが故郷・様似（さまに）町です。漁業、農業、軽種馬、合金鉄等が主な産業で、産物は日高昆布、ウニ、ツブ等です。ツブの鮓は絶品です。競馬ではアドマイヤデウスが今春の日経新聞杯GⅡで優勝しました。えりもの春は何もない春と歌っていますが、どうしてどうしてイキイキとしますよ。

3班 奥田 豊

ふるさととは津軽（青森）です。生家から200米のところ。が奥羽本線の最寄り駅です。地域は林檎「ふじ」の発祥地。遅い春が来ると敷地は薄ピンクの桜と白い林檎の花が咲き乱れます。飾り気のない自然風土ですが、当時の次男坊の少年も今年70歳。高校まで手伝った農耕を懐かしく思い出しています。郷里は？と訊かれれば「生涯の原点」と。「舌稀迎え鉢節々コキコキ」と。近く40年来の同級会を招集し、遠い惜別へ友と乾杯しよう。

8班 会津 忠雄

信州の国宝善光寺の町長野市がふる里です。冬季オリンピックが開催され大変賑わいました。このオリンピックで

街はだいぶ変わりましたが、もととは春は山菜採り、夏は川遊びに釣り、秋は茸狩り、冬はスキーと四季に富んだ故郷です。七年に一度の善光寺ご開帳が今年開かれました。この帰郷が毎回楽しみです。

8班 佐々木 博

ふる里（秋田市）の家は村の中心部にありました。隣は駐在所でその奥は村役場でした。駐在所の屋根上に時報を知らせる建物があり、朝夕6時の時刻や火災時などにサイレンが鳴りました。のちに役場は保育園に変わって賑やかになりました。母屋の土間の一角に馬と牛が飼われ、農作業に使ったものです。裏の作業小屋では繁忙時には夜遅くまで作業しました。小屋の裏は小中学校で、授業前の掃除ベルが鳴って走って行けば授業に間に合いました。子供時代はサイレンとベルで育ったようなものです。学校はもうありません。

11班 松村 宏

私のふる里は北陸の金沢（石川）です。昔は夜行列車で上京して何かと不便でしたが、今は北陸新幹線の開通で日帰りが可能になりました。金沢は加賀百万石の城下町で兼六

園、加賀友禅、九谷焼など観光も文化も盛んなところです。四季折々の自然の彩りもよく、久しぶりに帰省して両親の墓参りや友人に会うのが楽しみです。

8班 棚井 友幸

私が常陸太田市（茨城）で少年期に体験した築漁は、久慈川の支流里川から田渡堰で分岐した川幅約5メートルの用水路で行う小規模なものでした。とはいえ晩秋の水量が多いい日に水門を全開し、築に打ち上がったアユや沢ガニを手づかみした感触は、痛快な思い出として今もこの手に残っています。

5班 豊田 正敏

わがふる里は下町小岩。昭和11年生。生まれた頃を思い出すと見渡す限りの田園風景だった。このような時代に生まれた小生にとって、東京大空襲を体験したこと、戦前・戦中・戦後と三代の流れを目の当たりにしたことが、故郷とともにわが人生自慢の誇りといつて過言ではない。

12班 前田 義男

私のふる里は青森県南部地方。にんにくで有名な田子町に近く、春には桜、りんごや

さくらんぼの花が一斉に咲きほこり、それは見応えがある。四季折々に感動を与える十和田湖や八甲田山を眺め、酸ヶ湯温泉に浸かり、兄弟で酒を飲む。最高の故郷です。

12班 老沼 正一

白鬚神社で有名な向島生まれ。それから平将門祭の茨城県岩井市へ移り（将門煎餅が名物で神田明神でも売っている）、その後中野区江古田へ転居（氷川神社がある）。さらに御大師様の足立区西新井へと転々とし、松戸へ。小金原から今は日暮。自宅前になぜか白鬚神社がある。終の住み家もふるさと、ここ松戸になりそうです。

6班 川瀬 清成

私のふる里は滑川市（富山）です。自分の家から北アルプスが見える海と山の町です。薬の工場も沢山見えます。4月の夜はホタルイカが青い光を出し、海をきれいに見せてくれます。家の前の小川では泳いだり洗い物をしたりしていました。

4班 佐藤 利雄

福島県原町市だが今は合併して南相馬市です。7月には相馬野馬追祭で盛り上がる。

子どもの頃は15キロも歩いて見に行ったな。近くの山に登ってはSLや海など見たな。学校には10キロも歩いて9年間通った。でも生まれ育った所は今では立ち入り禁止。原発事故と風評が口惜しいな。

6班 藤井常治

自分の田舎は岡山の方です。家の裏に小川が流れ、町営のホテルの里として認定されています。市内の方へ行くと、倉敷大原美術館とか日本三大名園の一つ後楽園など色々あります。自分は上京して50年になりますが、今でも田舎を恋しく思います。

4班 藤崎篤雄

ふる里国分市（鹿児島）は南に桜島、北に霧島連山を望み、夏は桜島の噴火が花火のごとし。冬は霧島連山おろしの北風が悩みですが、我慢できることは芋焼酎と、地下からの恵みの温泉と清き地下水くらいです。故郷は遠きにありて想うものですね。

7班 田沼國男

私のふる里は東京の下町、荒川区南千住です。今では東京唯一の路面電車となった荒川線の三ノ輪橋駅近くで育ちました。東京大空襲の際は幸

い被害のなかった地域で、付近一帯は長らく木造2階建ての長屋が建ち並んでいました。メンコ、ビー玉、ベーゴマなどで遊ぶ毎日、悪さする度に近所の大人からよく叱られたものです。赤（銅線）や鉄屑を拾い集めては鉄屑屋に売って小遣い稼ぎをし、洩垂れの悪ガキ時代を過ごしました。

4班 大石公二

ふる里はここ松戸。毎年8月初旬に矢切駅前広場にて2日間、地元商店主催で矢切ビール祭が行われます。ステージを造り、唄や踊りを披露。また屋台ではビール、焼き鳥、焼きそばが供され、みんな飲み食いしながら楽しめます。

2班 松田恭子

南信州飯田市伊那谷（長野）に囲まれた山村で私は小学時代を過ごしました。夏は天竜川で泳ぎ、帰りは畑で採った川で冷やしておいたトマトをほおばり、秋は松茸、野いちごを食べました。春の山桜、冬の雪山、春夏秋冬すべてが美しい故郷の思い出です。

5班 田中和雄

野菊の墓に矢切の渡し、そして戸定邸、なんと地味な松戸市であることか。大半の人

が他府県から移り住み、50万都市になんなんとするも、なぜかマイナーな印象。だが待て、唯一誇りうる自慢があるのです。地震、風水害等どんな天災が来ようと、いつも被害が少ないのが、ふる里松戸の大きな自慢です。

3班 山本博之

「やはらかに 柳あをめる 北上の 岸辺目に見ゆ 泣けとごとくに」ご存じ石川啄木の生誕地が私の第二の故郷です。故郷の著名人としては平民宰相として知られる原敬（はらたかし）、最近では「南部蟬しぐれ」「峠越え」の歌謡曲がヒットしている民謡出身の福田こうへい。東北新幹線で帰省すると、岩手山の勇姿が「帰ってきたんだねえ」と迎えてくれます。

9班 高橋武士

小野小町の生誕地、名水百選の力水、旨い米、両関・爛漫等に代表される日本酒、秋田富士と呼ばれる鳥海山、漆器、稲庭うどん、温泉等、なんとわがふる里は自慢の多いことか（笑）。山形と宮城に接した山間の小さな町、湯沢が故郷です。

8班 前田均

私のふる里佐賀県波多津町津留主屋では、今でも1月7日にお正月行事「鬼火たき」があります。村の中心の田島神社跡地に近くの山から竹を切ってきて家の形に組み上げ、その中に門松や、田畑にお供えしたものをに入れて、燃やします。昼頃、村の人々が集まって、一年の健康を願い餅を焼いて食べます。村の出入り口にあるお地藏様にもお供えし、大雨や山崩れなどの災いから村を守って貰います。初夏にはホテルががばか（いっぱい）飛び回る。そんな光景が忘れられません。



ふる里は京の都。しきたりに添って年中歳事の多い町。尼僧学校に併設の幼稚園でのお茶事、花祭りの歌、お釈迦様のお話、六波羅地蔵の地獄絵巻など懐かしく思い出す。碁盤の目のように造られた町筋の通り名を、就学前後に、童歌で遊びながら習得したような気がする。今も年に数回帰省するが、子どもの頃によくお使いに行かされた乾物屋、漬物屋等々が変わらず商いを続けており、これがいちばんホッとします。

8班 荒木澄子

私の故郷は備前岡山である。故郷を出て50余年を経過したが、当時の「村」はその後大発展を遂げて「町」となり、今では合併によって「市」になっている。だがいつ帰郷しても昔ながらの山河や、知人友人は温かく迎えてくれる。白桃、マスカット等のくだもの、それに酒は格別においしく、遠く離れていても申し分のないわが故郷である。

8班 平賀功

ふる里大館市（秋田）は、徳川初期、水戸藩から国替えになった佐竹藩の分家の城下町で、人口8万人の山紫水明の地である。忠犬ハチ公は秋田犬で当市の生まれだ。秋田犬はキリタンポ用の比内鶏とともに国指定の天然記念物である。日本三大美林の秋田杉も大館曲げわっぱとともによく知られている。

5班 谷地田由夫

ふる里は京の都。しきたりに添って年中歳事の多い町。尼僧学校に併設の幼稚園でのお茶事、花祭りの歌、お釈迦様のお話、六波羅地蔵の地獄絵巻など懐かしく思い出す。碁盤の目のように造られた町筋の通り名を、就学前後に、童歌で遊びながら習得したような気がする。今も年に数回帰省するが、子どもの頃によくお使いに行かされた乾物屋、漬物屋等々が変わらず商いを続けており、これがいちばんホッとします。



3班 堺沢扶佐雄

東京生まれ。昭和19年、母の実家大網白里市に疎開。田んぼでタニシ捕りをよくやっていた。沼ではヨシキリがさえずっていた。名物は鯛のみりん干し。夏は九十九里浜で泳いだ。童謡「ふるさと」そのものでした。当時のクラスメート2名が松戸市内に在住で心強く思う今日この頃です。

12班 五月女 純

私は文京区で生まれ、戦争で野田へ疎開し、野田で育ちました。町中醤油の匂いがして、古くからの屋敷や工場がたくさんあり、諸味など保管の美しい御用蔵などもあります。情緒豊かなところです。醤油の匂いを嗅ぐたびにふる里を思い出します。

10班 染谷 健一

私のふる里は葛飾区堀切です。家の近くには浮世絵にも描かれている有名な菖蒲園があり、昭和30年代は荒れ放題の庭園でした。現在は立派に整備され、例年6月頃に数百種類の菖蒲が彩り鮮やかに、見事な花を咲かせ、楽しませてくれます。

7班 長田 康夫

故郷は長崎。異国情緒溢れ

る観光港町として有名ですが、意外と知られていないのが新鮮な魚介類の豊富なこと。子どもの頃、大八車にトコ箱を乗せて売りに来る魚屋さんから魚類を買い、毎日のように食べていました。いい加減肉も食べたいという、今は亡き両親から、他所へ行ったらこげんなもの（こんなに美味しいもの）は食べれんぞと言われたことが懐かしく思い出されます。

3班 白土貞夫

ふる里は港町那珂湊市（茨城）。那珂川がゆったり流れ、上流では鮎、下流では鮭が捕れる。戦後しばらくは秋刀魚、鰯など豊漁に沸き、万祝どてらを着たヤン衆達で町の酒場は賑わった。僕ら少年達は遊び疲れて家に帰る。角を曲るとブーンとカレーのいい匂い。あつ、俺ン家だ！今日のご飯いっぱい炊いたからいっぱい食べな。母の笑顔がなつかしい。ふる里の遠い話だ。（万祝Ⅱ一番漁した船主が船員に与えた船名入りの派手などてら）

2班 佐々木 幸紀

私の故郷は日本三景の松島（宮城）で、「雪の松島」が自慢です。年数回雪が積もり、

翌日青空の時は、紺碧の海と大小島々の雪景色が、この世のものとは思えない美しさです。中国の洞庭湖や西湖にも勝り、松尾芭蕉も見なかった絶景です。

10班 高橋 昌平

故郷、南蔵王のふもと七ヶ宿町字横川（宮城）のことは前号で書きました。続きをもう少し。蔵王を水源とする清流が横川で、水が冷たくイワナしか棲めない。この溪流を3キロ上った山奥の斜面に山わさび（あぶらな科多年根菜）が自生する。雪解け数日後、白い花が咲く直前が採集時期で、その時期を待つてよく採りに行った。草丈数センチ、根も小さく手間がかかる。葉、茎、根を細かく刻んで熱湯をかけ、密閉してしばらく置くと、鼻にツーンと辛味を感じ、その刺激が香辛料として珍重される。早春の山を思う時、昔の山菜採りが懐かしい。



平成26年度事故状況（平成26年11月～）

	日付／事故種	業種／事故者	事故状況	事故原因／再発防止
1	11月4日 AM 8:00／賠償	植木剪定就業中 男性(64)	防犯カメラの導線を切断	作業前に導線を外すなどの対応を忘れぬよう指導
2	11月11日 PM 5:00／傷害	除草清掃作業中 男性(75)	自転車を移動中階段から転落	物を持つての移動は足元に注意するよう指導
3	12月3日 AM 5:35／傷害	自転車放置指導 男性(71)	出勤途上で転倒右手薬指・小指骨折	暗い時間帯は足元に注意するよう指導
4	12月17日 PM 3:00／賠償	除草作業 男性(72)	刈払い作業中駐車車両に小石飛散	対象物に安全ガードを施す等の安全対策を指導
5	27年1月16日 PM 4:07／傷害	回収運搬業 男性(67)	ダンプ上で植木枝を積み込み中転落	作業中は車を移動しないよう指導
6	2月3日 PM 1:30／賠償	植木剪定中 男性(67)	作業中、門のインターホンの配線を切断	事前に配線等の有無を確認し慎重に行うよう指導

平成26年度

事故件数 12件
傷害事故件数 6件
賠償事故件数 6件

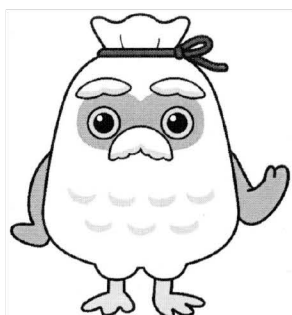
平成25年度

事故件数 21件
傷害事故件数 14件
賠償事故件数 7件

【最優秀作品】作者

市原麻奈美さん（町田市）
「〈知恵袋〉と〈ふくろう〉を併せシルバーの皆さんを象徴させました」

チエブクロー



地域班活動

○皇居内見学記

高橋 武士（9班）

8・9班合同の皇居内見学会が去る3月13日、53名もの参加を得て実施された。皇居職員から見学上の留意点、コースの説明があり、見学開始

先ず江戸城の石垣の大きさ、関東大震災にもビクともしなかった石積みの見事に圧倒される。巨岩は全国の大名の寄進で家紋が彫られているとか。現存する江戸城最古の遺構の一つとされる富士見櫓を右手に見ながら、一般参賀の時に天皇陛下がお言葉述べられる宮殿東庭に至る。ちなみに祝賀をお受けになるバルコニーは毎回新設されるそうで、高さは地上から3米。思った程高くない印象だった。

さらに正面鉄橋（通称二重橋）から、3代將軍家光が伏見城より移築したとされる伏見櫓を望みつつ、樹木も絵になる山下通と宮内庁庁舎を経て、約2キロを巡る見学は、1時間強で終わった。

見学後、一度は訪れたい希望が叶った満足感、加えて皇居の雰囲気と皇室のイメージとが合致している点に一同感激。深い感動を覚えた素晴らしいひとときであった。

いひとときであった。

○松戸市議会傍聴記

谷地田 由夫（5班）

3月5日10時半より5班の希望者および、小室委員長と一緒に数名を併せ、30名の参加で実施した。

市議選後の最初の定例会本会議で、緊張の雰囲気の中に質疑が行われていた。当日はちょうど社会的弱者である子どもや高齢者に対する市のサポート体制や地域での援助の取り組み等について活発な討議があり、私たちも大いに参考になった。

正午から、第65代の新議長に就任した大井知敏氏の案内で議長室や広い議長応接室を見学。ここで大井議長から、シルバー人材センターも含めて市全体の高齢者対策を、行政と議会が協力しあって推進していきたいとの挨拶があり、私たちも意を強くした。

1時頃ひとまず散会し、希望者で市役所地下の食堂で意見交換を行い、終了した。

○2班 化粧品会社探訪記

渡邊 和子（2班）

桜の咲く時期、2班の29名は北松戸駅に近い「ハイム化粧品（株）」を見学した。あまり耳慣れない化粧品名

だが、生協・コープに出荷。

従業員は少人数で使用原料を明示し、肌の良い製品を心がけているとのこと。「女性の敵シミ、シワ、タルミはなぜ？」

「紫外線の強い5月〜8月は直射日光を浴びないこと。特に18歳までは肌を出さず要注意」とのこと。もう遅いかも知れないがお互い気をつけましょう。

ボランティア活動

○江戸川クリーン大作戦

5月31日9時より、地域貢献活動の一環として参加します。ご希望の方は事務局までお申し出下さい。（雨天中止）

ボランティア委員会

委員長 大曾根 一郎

《《会員のひろば》》

■私の夢は…

今の私の夢は2019年のラグビーW杯、20年の東京オリンピックを新国立競技場で観戦すること。孫がJリーグ選手で活躍する姿を観られれば最高です。それまで健康で、今の仕事を続けられるよう頑張りたいと思います。

大久保 慶治（10班）

同好会に入りませんか

■絵本読み語り同好会

毎月第1火曜日10時より読書推進センターで定例会。市内の子どもや老人の施設で毎月絵本・紙芝居を読んでいます。昨夏は松戸伊勢丹で1週間子どもに絵本を読み大好評でした。入会歓迎です。

連絡先／島田忠巳（7班）

（☎341・3544）

■手工芸同好会

会員は現在15名。シニア交流センターまつりには作品を展示販売しています。皆さん一緒にやりましょう。

連絡先／高橋久子（5班）

（☎367・2317）

■グラウンド・ゴルフ同好会

27年度大会予定

第1回 5月13日（水）

第2回 9月9日（水）

第3回 11月11日（水）

新会員の参加を歓迎します。

連絡先／中川忠興（12班）

（☎386・7433）

■フラダンス同好会

毎月第2月曜・正午から、上本郷駅前「グラウンプリ」でフラダンスとカラオケを楽しんでいます。参加大歓迎。

連絡先／小竹和子（5班）

（カラオケステージ「グラウンプリ」☎361・6157）

■カラオケ同好会

毎月第3木曜日の正午から総台駅前のカラオケ喫茶「花」で。どなたも大歓迎。

連絡先／小林久芳（5班）

（☎367・6579）

■囲碁クラブ

毎月第2金曜日定例会、市民会館305号室（ながいき室）

連絡先／高橋 公（5班）

（☎364・2390）

★前号の訂正

本誌48号で紹介した「吹き矢教室」の正しい名称は「秋桜の会」でした。なお当会は現在新会員の募集はしていないとのことです。

駐輪場だより

■《町探検隊》が新松戸東口第1駐輪場を訪問

長岡 篤司（9班）

子供の町探検隊（幸谷小と横須賀小の2年生）16名がこのほど、新松戸駅東口第1駐輪場を訪問、質問攻めに遭いました。「駐輪場ができたのは？」「自転車、バイクの数は？」「そこで皆に教えてもらうことに。子どもたちは飛び跳ねるように数えるので、こちらはヒヤヒヤ。後日幸谷小の11名から礼状と感想文、町探検隊の発表会の案内状が届

き、私も出席しました。自分たちの体験をのびのびと発表できる子どもたちが、とても素晴らしく見えました。
(※左の写真は幸谷小2年・町探検隊の皆さんからのお礼状です)



詩歌はたのし...

俳句

菅谷 和 (2班)
松戸の宿水面に映る紅さくら
さくら舞ふ駐輪場に雀かな

小倉美枝子 (2班)

清明の刹那のごとく風かおる
村中美津子 (2班)
風に散る花片やまず雪のごと

若井正幸 (8班)

淡雪や梅の蕾は見え隠れ
人がみな微笑み分かつ花の下
花日和人形抱くごと子抱き上ぐ

島田忠巳 (7班)

のうぜん花羅漢の破顔に貫い笑み
アカシアの夜想曲二番風立ちぬ
ビー玉の弾ける音や雲の峰
るかづちや鉄腕アトムに涙あり
カンダタの眼笑わぬ蜘蛛の糸

松本有介 (9班)

棧橋に残りしテーパーラの雨
抜け花ラセンの左乗り倦む
飯の世に想ひを馳すや浮寝鳥
じゃれ付かれ子猫の裾になり
にけり

山崎修平 (12班)

散る花やごみに特異の光あり
花過ぎの回らぬ頭持ち歩く
スカートに光が絡む五月かな

川柳

老沼正一 (12班)

刑務所の食事に限るダイエット
IPS元はあなたの皮膚ですよ
人前は嫌いお喋りツイッター
電子メール切手の味は知らぬ
まま
おんぶ紐さかさまにするモダンズム

短歌

小倉美枝子 (2班)

待ちこがれ寒風のなか春山へ
葉にかくれ花出番まつよう
(参考)「待ちきれず入る早春
の山陰のここにも待てる花の
ありけり」山崎(編)

根岸敦子 (2班)

ベランダまでぐんぐん伸びた
ハーデンベルギア大きなお
きな紫ブーケに
楽しくもジグザグ道を下ると
きふと思ひ出す幼友達

地域社会を担うシルバー人材センター

「賛助会員」募集中

松戸市シルバー人材センターは、働く意欲のある高齢者に就業機会を提供し、生きがいの充実と福祉の増進を図っております。同時に多様な仕事をお引き受けして活力ある地域社会への貢献をめざしておりますが、何よりも地域社会の篤いご支援こそ必要です。そこで「賛助会員制度」を設け、皆様方のご協力を仰いでおります。

つきましては本制度の趣旨にご理解ご賛同を頂き、本会員にご入会されて、センター事業の一翼を担って頂きたい。心からお願ひ申し上げます。会費は次のようにさせていただきます。

○個人会員 年会費 (1口) 1500円

○法人会員 年会費 (1口) 3000円

ご入会後は会報「はっらつ松戸」を発行の都度お送りし、同誌にお名前を掲載します。お申し込みの詳細については、当センター事務局までご連絡頂きたく、なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。
連絡先 / 330・5005



「特集」投稿大募集!

次回特集は皆さんお得意の「趣味の世界」

です。長年培ってきた趣味は本業に優る心の栄養です。自慢の趣味をご披露ください。引き続き「私のふるさと」を募集しています。その他、何でも奮ってご投稿ください。

○ ● ○



(山高神代桜) 山梨県北杜市実相寺境内。大正11年国指定天然記念物。日本三大桜の一角を成し、樹齢2千年とも。

撮影 盛英雄 (7班)

松戸市の各種健診を受診しましょう。
安全就業は健康が第一です。年に一度は健診を受けましょう。

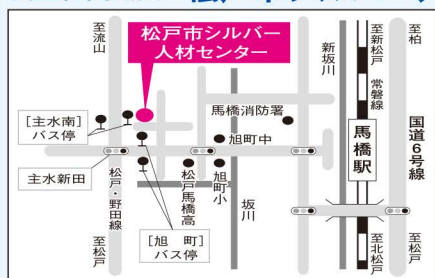
編集後記

3月10日付の官報で松戸の旧徳川昭武庭園が正式に国の名勝に指定されました(「広報まつど」4/15)。この戸定邸や矢切の渡しなど市内には有形の文化遺産が沢山あります。それらを観光拠点として人が集まる街にしたい、松戸っ子の私の願いです。

次回の特集は皆さんの多彩な「趣味」や「趣味にまつわる思い出」です。「ふるさと」も募集中。沢山の寄稿をお待ちしています。

(大曾根 編)

公益社団法人 松戸市シルバー人材センター



〒271 0043 松戸市旭町一ー一七四
TEL 0477-330150 FAX 0477-330150
FAX 0477-330150
・月曜日から金曜日
午前8:30〜午後5:00
土・日・祝日及び年末年始は
お休みです。